

1942(昭和17)年12月1日に誕生し、今年で市制施行80周年を迎える鈴鹿市。80周年にちなみ、このコーナーでは本市の発展を振り返ります。

神戸周辺

神戸地区での宅地造成は、昭和30年度から当時の神戸矢田部町地内(現在の神戸九丁目付近)で行われました。これは、本市での初めての宅地造成事業でした。

現在、近鉄鈴鹿線は平田町駅まで続いています。当時は伊勢神戸駅(現在の近鉄鈴鹿市駅)が終着駅として、市民の皆さんに利用されていました。

昔(昭和30年)

宅地造成前



昔(昭和30年代)

宅地造成後



現在



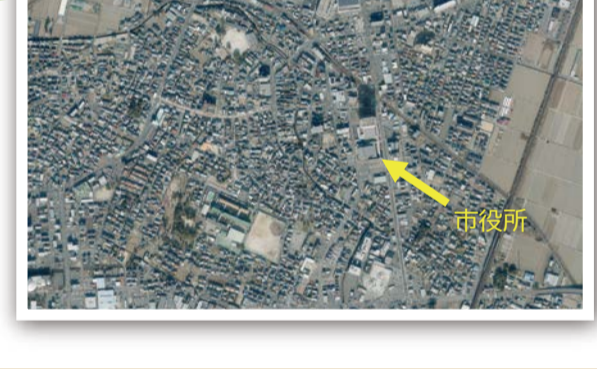
※市役所から撮影

昔(昭和27年)



出典：米極東空軍撮影の空中写真(昭和27年撮影)

現在



ひとまちモータースポーツ

モータースポーツお宝探検隊 vol.16

元ヨタ系レーシングチームのマネジャーだった柴田友美さん(寺家)。その幅広い人脈から、かつてF1日本GP開催時には多くのレース関係者が柴田家を訪れ、食事をしたり泊まったりと、にぎやかな週末を送っていました。当時現役F1ドライバーとして活躍していた片山右京さんもその1人。鈴鹿での下積み時代に柴田さんと同じチームで戦って以来、縁がありました。そんな気心の知れた間柄でしたが、柴田さんは「お腹を壊して明日の走行に響いたら…」と細心の注意を払って夕食の準備をしていたそうです。

リラックスした時間の中で、年に一度の母国GPIに向けて鋭気を養っていた片山さん。故高橋国光さんからは、年下にもかかわらず「お母ちゃん」と親しみを込めて呼ばれた柴田さんの温かさや優しさが、片山さんの戦いに向かう大きな力になっていたのでしょうか。

柴田さんのお宅には、片山さんから贈られたヘルメット(複製)やレーシングスーツが今も大切に保管されています。



■中野能成(鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局)

キーボード

秋になり、過ごしやすい季節になりました。7月から9月にかけて、コロナ禍で開催を見合わせていたお祭りなどが、感染対策を取りながら復活しました。私も取材活動で「すずフェス」や「鈴鹿げんき花火大会」を訪れ、数年ぶりにお祭りの雰囲気を楽しみました。踊り子の皆さんのほじける笑顔に元気をもらい、夜空で満開に咲く花火の美しさに圧倒され、何より鈴鹿のまちが以前のにぎわいを取り戻しつつあるのがうれしく思いました。

来る10月29日は、史跡指定100周年を記念し、伊勢国分寺跡歴史公園で伊勢国分寺まつりが開催されます。歴史公園でのお祭りは今年が初めてとなり、コンサートや天平衣装行列、体験ブースや屋台村が出店するなど、楽しい企画が盛りだくさんです。秋の思い出づくりに、皆さんも訪れてみてはいかがでしょうか。(晴)